

越前市議会だより

第70号

令和4年(2022年)11月15日(火)
発行 編集 越前市議会
〒915-8530
福井県越前市府中一丁目13番7号
TEL:0778-22-3426
FAX:0778-23-3000
<http://www.city.echizen.lg.jp/shigikai/index.html>



新幹線開業の準備着々と

新幹線「越前たけふ駅」を内覧

今年9月に内装工事が終了し、令和6年春の開業までは設備工事などを残すのみとなった北陸新幹線「越前たけふ駅」について、議員が現場視察を行いました。

1階コンコースの天井には、越前和紙の技法である「流し漉き」の動きを表現した和紙照明が設置され、全体的に落ち着いた雰囲気となるようデザインされていました。

また、伝統工芸を取り入れたデザインが至る所に見られ、丹南地域の新たな玄関口としてふさわしい様相となっていました。

このほか、今年8月5日に国土交通省より道の駅として登録され、令和5年春にオープン予定の「道の駅 越前たけふ」についても同日に視察を行い、開業準備が整いつつあることを確認しました。



北陸新幹線「越前たけふ駅」



道の駅「越前たけふ」



9月定例会の概要

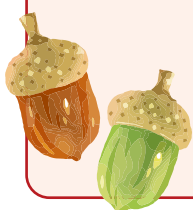
令和4年9月越前市議会定例会は、8月31日から10月21日までの52日間にわたって開かれました。

この定例会では、令和4年度一般会計補正予算案など予算案3件、越前市手数料条例の一部改正など条例案4件、工事の請負契約についてなど一般議案4件が提出され、本会議における質疑、各常任委員会の審査を経て、いずれも原案どおり可決しました。

さらに、令和3年度各会計決算認定案7件については、決算特別委員会を設置しての審査を経て、認定・可決しました。

また、教育委員会委員、農業委員会委員、人権擁護委員に関する人事案5件に同意しました。

このほか、地方財政の充実・強化を求める意見書案1件を可決しました。



本号の主な内容

- 2面 ◆ 議案質疑
- 3面 ◆ 議決結果ほか
- 4～6面 ◆ 一般質問・特別委員会委員長報告ほか
- 7面 ◆ 意見交換会ほか
- 8面 ◆ 議場見学・12月定例会の日程

9月補正予算

一般会計 10億4,607万4千円の追加補正 (補正後総額376億135万4千円)

- 公共交通対策事業
- 原油・原材料等高騰対策支援事業
- 北陸新幹線越前たけふ駅周辺整備事業
- 電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業 ほか

9月定例会 議案審議



その他の審議については、12月掲載予定の会議録をご覧ください。

越前市会議録検索システム [検索](#)

条例審議

定年延長に伴う対策

越前市職員の定年等に関する条例の一部改正

問 60歳で役職定年となるが、公務に著しい支障が生じる場合は、引き続き管理職として勤務させるとのことだが、具体的にはどのようなケースを想定しているのか。

答 特別なプロジェクトを継続する場合や、特殊技能を要する職務など、欠員補充が困難である場合を想定している。

コンビニ交付手数料の減額によるマイナンバーカードの利用促進

越前市手数料条例の一部改正

問 改正の理由は。

答 現在、市ではマイナンバーカードの普及が進み、2人に1人が取得している。こうした状況を鑑み、最も身近な利用方法である各種証明書のコンビニ交付の手数を150円減額することで、さらなるマイナンバーカードの普及促進と、コンビニ交付の利用促進を図るためである。

問 令和3年度のマイナンバーカードによる各種証明書交付の実績とコンビニ交付の割合は。

答 各種証明書の交付件数は8万5272件あり、そのうちコンビニ交付は1万1633件で、約13・6%である。

問 同様の手数料改正は、他自治体でも行われているのか。

答 先進事例として、神奈川県藤沢市や長崎県長崎市では100円の減額を行っており、熊本県宇城市や宮崎県都市では本市と同様の150円の減額を行っている。県内では現在実施している自治体はないが、今後3市町で実施予定と聞いている。

問 減額期間を令和7年3月31日までと定めている理由は。

答 カードの普及促進およびコンビニ交付の利用促進を図るために、あえて期間

一般議案審議

新公立認定こども園の建設工事契約

工事の請負契約

問 今回の入札にあたり材料費高騰による増額を見込んだとのことだが、結果は。

答 6月補正にて、建設工事、機械設備工事、電気工事合わせて1割の増加を見込み、予算を計上した。再入札の結果、建設工事が2割増しとなった一方で、機械設備工事は微増、電気工事は設計額を下回る結果となった。

問 今回の工事延期により、令和5年に卒園する子どもたちは新しいこども園に入れないことになった。子どもたちに思いを作ってもらおうような配慮はできないのか。

答 開園前に卒園する子どもたちに対しては、建設工事の進捗状況を踏まえて、可能な限り現場を見学できるように検討していきたい。



新公立認定こども園(イメージ図)

補正予算審議

デマンド交通の実証実験開始準備

自家用有償旅客運送実証実験事業

20万円

問 予算計上の経緯は。

答 坂口地区住民から自家用有償旅客運送の導入支援の要望を受けて、予算計上に至ったものである。

問 令和5年度から実証実験を始めるとのことだが、内訳は。

答 有償で人を運ぶ場合には一種免許、または二種免許を持っていることが前提であり、国土交通大臣認定の講習を受ける必要がある。今回は、講習の受講料および事務費等を計上している。

問 講習はどこで受けられるのか。

答 受講人数が多い場合は現地で開催される。今回は10人が受講するので、本市で講習を受ける予定である。

問 自家用車で運行する場合は、協議会を立ち上げる必要があるが、それはどうなっているのか。

答 現在運行している坂口地区自治振興会を中心として、形成していくことを想定している。

春から秋の燃油・肥料高騰に対応

燃油・肥料高騰緊急対策事業

6057万円

問 補助の内容は。

答 春から秋の農作業に係る燃油および肥料の高騰分を支援するものであり、10アールあたり1860円を支援する。

問 春と秋に分けて支援を行う理由は。

答 春の時点では、コロナの影響や、ウクライナ情勢、円安など、1年を見通すのが困難な状況だったことおよび国や県の支援策の動向が明らかになったことから、2回に分けて支援を行うこととした。

問 対策として十分か。

答 1年間を総括すると、水稻も施設園芸もほぼ高騰分を支援できたと考えている。

住民税非課税世帯・家計急変世帯への給付金

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業

3億642万4千円

問 家計急変世帯とは、どのような世帯か。

答 令和4年1月から12月までの間に経済状態が急変したことで、非課税世帯と同等になったと認められる世帯のことである。1月から12月のうち一か月の状況から年額を推定して決定する。

以前実施した給付金はコロナが原因の家計急変が条件だったが、今回はコロナが原因でなくとも支給される。家計急変世帯の数は500世帯を想定している。

問 一か月はどの月から選定するのか。

答 国からは1月から12月までのうちの任意の月と聞いている。まずは相談を受けたうえで申請を受け付けるので、申請の際には所定の資料を持って窓口に来ていただきたい。

問 周知の方法は。

答 あらゆる窓口で困っている方を発見していく。市の広報やホームページ等にも情報を掲載する。国や県でも情報発信が行われると聞いている。

問 今回の給付金で困っている人に漏れなく支援が行き届くか。

答 審査の結果、給付金の選定から漏れる場合があっても、一人一人細やかに相談し、適切な支援につなげていきたいと考えている。

問 申請窓口はどこか。

答 本庁2階の社会福祉課および、福祉総合相談窓口が受付窓口となる。



議案の議決結果

令和4年9月越前市議会定例会に提出された議案と議決結果は次のとおりです。

議案	件名	付託委員会	議決結果	議案	件名	付託委員会	議決結果
議案第41号	令和4年度越前市一般会計補正予算(第4号)	総務 教育厚生 産業建設	可決(全員)	議案第52号	越前市子ども医療費の助成に関する条例及び越前市ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正について	教育厚生	可決(全員)
議案第42号	令和3年度越前市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	決算特別	認定(全員)	議案第53号	工事の請負契約について	教育厚生	可決(全員)
議案第43号	令和3年度越前市工業用水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	決算特別	認定(全員)	議案第54号	工事の請負契約について	教育厚生	可決(全員)
議案第44号	令和3年度越前市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	決算特別	認定(全員)	議案第55号	市道路線の認定について	産業建設	可決(全員)
議案第45号	令和3年度越前市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定(多数)	議案第56号	財産の取得について	産業建設	可決(全員)
議案第46号	令和3年度越前市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定(全員)	議案第57号	令和4年度越前市一般会計補正予算(第5号)	総務 教育厚生 産業建設	可決(全員)
議案第47号	令和3年度越前市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定(全員)	議案第58号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意(全員)
議案第48号	令和3年度越前市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定(全員)	議案第59号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意(全員)
議案第49号	越前市職員の定年等に関する条例の一部改正について	総務	可決(全員)	議案第60号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意(全員)
議案第50号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	総務	可決(全員)	議案第61号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて		同意(全員)
議案第51号	越前市手数料条例の一部改正について	教育厚生	可決(全員)	議案第62号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて		同意(全員)
				議案第63号	令和4年度越前市一般会計補正予算(第6号)	総務 教育厚生 産業建設	可決(全員)
				意見書案第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書	総務	可決(全員)

賛否の公表

賛成・反対の双方があった議案などについて表示します。(賛成：○、反対：×、欠席：欠)

議案	件名	賛 否																						
		会派 郷働				会派 創至				市民ネットワーク			誠和会(自民)	一志会	諸	諸	諸	諸						
		近藤 光広	橋本 弥登志	小玉 俊一	川崎 悟司	城戸 茂夫	能勢 淳一郎	中西 昭雄	題佛 臣一	安立 里美	小形 善信	土田 信義	砂田 竜一	吉田 啓三	三田村 輝士	大久保 健一	川崎 俊之	佐々木 哲夫	清水 一徳	畑 勝浩	桶谷 耕一	大久保 恵子	前田 修治	
議案第45号	令和3年度越前市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

(注) 議長は採決には加わっていません。 諸：諸派

常任委員会委員長報告

9月13日～15日および27日、10月21日に各常任委員会を開催し、提出された議案について審査を行いました。9月27日および10月21日に行われた委員長報告から、令和4年度一般会計予算の審査結果報告の一部を紹介します。

委員長報告全文は12月掲載予定の会議録をご覧ください。

越前市会議録検索システム [検索](#)

総務委員会

パートナースhip制度の展望は

問 趣旨や理念等の啓蒙、啓発について、どのように考えているのか。

答 啓蒙のための講演会開催や、男女平等オンブドの事業所訪問、また、市の「輝く女性活躍応援団」賛同企業を通じての啓蒙などに努めていきたい。

問 制度施行自治体として、全職員が正しい知識を持つことや、適切な対応をとることが求められるが、職員の研修についての市の考えは。

答 制度概要や当事者の声などを取り上げた動画の視聴をはじめとした研修等を実施し、職員間での正しい知見の養成を図るとともに、庁舎窓口でのコンシェルジュ業務を委託している業者にも制度理解を求めることで、利用者にも適切な対応をとることができるよう努めていく。

教育厚生委員会

切れ目のない児童発達支援を

問 委託事業の内容は。

答 幼児期と小学生の個別療育、中高生の個別・集団療育および計画支援相談など、新たに取り組む支援の一部について、委託する予定である。

問 切れ目なく、教育委員会とも連携して児童発達支援事業を行ってほしいが、幼児期および小学生の集団療育を委託しない理由は。

答 市児童発達支援センターがないで行ってきただけの段階からのきめ細やかな対応や、幼児期の集団療育のノウハウを生かし、小学生の集団療育と合わせて市が行うためである。

部活動に限らない子どもの活動機会の確保を

問 子どもの新たな活動環境に係る検討委員会での検討内容は。

答 最初の数年は中学校部活動の地域移行が議題となるが、その後は部活動に限らず市全体におけるスポーツや文化面での活動機会の確保について検討していきたい。

根本的な大雨対策を

問 今立アニスコートは、根本的な大雨対策が必要ではないか。

答 課題としては認識しているが、教育施設の長寿命化の対応を優先し

産業建設委員会

継続して結果を出せる形で実施を

問 地域活性化起業人の概要と地域おこし協力隊との違いは。

答 地域活性化起業人は、企業のノウハウや知見を生かし、自治体において地域独自の魅力、価値の向上、地域経済の活性化等に繋がる事業に従事する人のことであり、地方自治体と企業が協力して、都市部から地方への人の流れを創出できるよう取り組む制度である。また、地域おこし協力隊との違いは、地域おこし協力隊は個人の活動であるのに対し、地域活性化起業人はノウハウを持った企業が、地域おこし協力隊のような立ち位置で取り組むという部分で大きく異なる。

問 市の農産物ブランド化や農業振興策を期待するが、今回の予算は半年分であり、次年度も継続して採用していくのか。

答 国の事業として3年を上限に継続可能となっており、状況をふまえて可能であれば継続していきたい。

問 継続的な公園管理と整備を

答 紫式部像のエリアに石の突起があり、散策者が転ぶ可能性がある。対応策は。

問 現在、園路の改修工事を実施しており、クレー舗装に近い色のアスファルト舗装を行い、車椅子でも散策できるように整備していきたい。



9月定例会 一般質問

9月定例会では、17人の議員が9月7日、8日、9日の3日間、一般質問を行いました。多くの質問項目の中から1人1項目を選び、ジャンルごとに質問・答弁を要約して掲載しました。なお、詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

北陸新幹線

「かがやき」停車に向けての活動状況を示せ

本市や丹南地域への誘客促進を図り、交流・定住者人口やU・Jターン促進のために、私は昨年来「かがやき」停車に向けての活動を要望しているが、どのような状況か。

JR西日本への要望の中に、利便性確保を新たに盛り込む。更に、各促進期成同盟会等に参画している丹南地域の各首長や、地元選出県議会議員、市議会、経済各界などの協力を得ながら、政府やJR各社へ働きかけていく。

他の質問項目

- ・市長選挙時の公約内容について
・南越前町への災害援助について



会派 郷働 近藤 光ひろ

北陸新幹線「越前たけふ駅」周辺開発について

企業誘致への基盤整備は、後に市税の増収が期待でき、財政健全化に寄与する。この増収により、学校給食の無償化、子育て支援も期待できるため、財政健全化指標にとらわれない積極的な投資が望まれる。市の所見は。

開発については、民間の整備を中心に考えているが、市が担うべき整備は、国・県の支援や、起債可能額を長期間で試算し、現在の社会情勢等を総合的に判断しながら、事業に臨むことが重要であると考えている。

他の質問項目

- ・豪雨への対応について



市民ネットワーク 土田 信義

地元地権者に対して丁寧な説明をせよ

越前たけふ駅周辺整備において、本格的な個別説明が行われているが、拙速で理解を得られていないように見受けられる。今後の進め方は。

今後三回目の地権者説明会を予定しており、具体的な交渉条件について改めて提示する。その後戸別訪問を実施し、その中で地権者の要望等を確認し、引き続き丁寧な説明に努め、地元へ寄り添いながら、当プロジェクトを全力で進めていきたいと考えている。

他の質問項目

- ・中学校部活動の地域移行について



誠和会(自民) 川崎 俊之

越前たけふ駅周辺整備の進捗を示せ

次世代交流拠点施設の機能や、県営産業団地への応募など、永年の地元の夢の実現、先人の想いに向けて、どのように取り組むのか。

商業施設と一体的な整備を実現可能とするため、機能や整備手法を議論する研究会を今秋にも発足させる。県営産業団地については、公募条件の財政負担や事業スケジュールの弾力的な運用を県に求めており、要件緩和がなされれば公募に応じたい。今後も、地元の人々のさまざまな意見が反映されているまちづくり計画をしっかりと尊重しながら、具体化していきたいと考えている。



会派 郷働 川崎 悟司

施設管理

今年度、本市は保育士確保の新規事業として、全国の中でもレベルの高い就労支援事業を始めた。来年度以降の事業継続を求めるが、市の考えは。

公立・民間園ともに、市民の保育ニーズに対応するための保育士確保は喫緊の課題である。県内外からの保育士の呼び込み、潜在保育士の掘り起こしなど、積極的な採用活動の支援策の一つとして、来年度以降も事業継続が必要と考えている。

他の質問項目

- ・行政DX推進と市民サービスについて



市民ネットワーク 砂田 竜一

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を推進せよ

人生100年時代を見据え、健康寿命を延ばすことが大切だが、特に75歳以上の後期高齢者の保健事業をどのように実施しているか。

後期高齢者の特性に合わせて、①体重や筋肉量の減少を主因とした低栄養や口腔機能、運動機能、認知機能の低下等のフレイルに着目した対策 ②生活習慣病の重症化予防への取り組み ③かかりつけ医と連携し、医療専門職によるきめ細やかな訪問による健康支援、の3点に取り組んでいく。

他の質問項目

- ・古民家の利活用の推進について
・野良猫対策について



諸派(公明党) 桶谷 耕一

離職した若者が再チャレンジできる就労支援の場を

若者の早期離職が増えている要因に人間関係などが挙げられ、自信がなくなり再就職ができない状態が続いている若者も少なくない。市内企業と協力の下、自信を取り戻し再スタートのできる「中間的就労支援」に早急に取り組んでもらいたい。

早期に退職する若者がいることは把握しており、今後、市内企業に対して、すぐに働くことが難しい人を対象に、就労体験の場を設けるよう「中間的就労支援」を呼びかけていく。

他の質問項目

- ・地域のブランディングについて
・友好都市との観光連携について



会派 創生 題佛 臣一

施設の管理体制を再考せよ

公の施設管理については、直接管理、指定管理、さらに地域づくり、住民との協働を高める委託等幅広い方法を選択しても良いのではないかと。

指定管理は、民間企業の弾力的、効率的な運営、ノウハウを生かすために導入された制度だが、20年の経過の中で、趣旨に合わないケースも生じている。施設の役割、効用、地元の意見を踏まえ、原点に立ち戻り、施設管理の形態を考え直すことが重要であると考えている。

他の質問項目

- ・地域の減災について



会派 郷働 橋本 拓志

※一般質問

議員が行政全般にわたり、市長等の理事者に対し、事務の執行状況や将来の方針等について説明を求め、疑問点をたずねるために
行う質問のことをいいます。

市政方針

市長の政治姿勢について

問 就任からの1年間を振り返り、今後特に力を入れるべきだと考えている
取り組みは何か。

答 市総合計画の改定を進めなければならないと考えている。また、北陸
新幹線開業を間近に控える中、本市の認知度を上げていく必要性も
認識している。訪れた人が満足できるような地域ブランドの構築が、
住みよくなることづくりに繋がると考えることから、そこに力を入れ
ていきたい。

他の質問項目

- ・市職員数の今後のあり方について
- ・市税収納率について



会派 郷働
城戸 茂夫

他の質問項目

- ・農と食の取り組みについて

総合計画について

問 今までの総合計画では、ネットワーク型コンパクトシティの形成と定住
化の促進をうたいながら、中心市街地への投資が中心であった。新計画
の目指すべき姿は。

答 新総合計画では、市役所周辺を中心拠点に、あいぱーく今立周辺を
地域拠点に、新幹線駅周辺を広域交通拠点に位置付け、各町内にお
ける地域コミュニティ等を単位とした生活圏を維持し、住み続けられ
る分散ネットワークのまちづくりを目指す。



一志会
佐々木 哲夫

防災

豪雨災害に備えよ

問 8月4日、5日の大雨による災害の要因をどの様に考えているか、また
今後どのような対策を考えているか。

答 過去3番目の雨量があり、用水路や道路側溝などの断面が不足した
ことや、日野川の水位が上昇し、流入河川や水路の排水ができなかつ
たことが災害要因だと考えている。今後、排水ポンプの設置箇所、設
置台数の見直しや、浚渫や河川改修等による流下能力の確保を行い、
堤防高上げの重要要望を国・県に行っていく。

他の質問項目

- ・伝統産業の育成について

学校の各教室に肩までの防災頭巾を配置せよ

問 福井震災から74年が経過し、本市においても直下型地震に襲われる可
能性は大きい。小学校での避難訓練時、全児童が廊下に整列したが両
側がガラスであった。各教室に防災頭巾を防災備品として配置すべきで
は。

答 現在は、身近にある体操帽子やカバンなどを活用するよう指導してお
り、よりよい方法については研究していく。現在のところ、市の防災備
品として配置することは考えていない。

他の質問項目

- ・地震防災マップの配布と利用について
- ・都市計画税の誤徴収と課税漏れについて



会派 創生
安立 里美



会派 創生
中西 昭雄

香害

「香害」対策を進めよ

問 近年、洗剤や柔軟剤などの香りによる健康被害が生じている。全国では
すでに香害に対する動きが活発化し国も啓発ポスターを作成したが、市
の対応は。

答 ホームページや市広報紙への情報掲載、丹南ケーブルテレビの活用など
により、市民への周知啓発を検討している。今後、国の動向を注視し
ながら、消費者グループをはじめ関係団体と協力し、市民への情報提
供に努める。

他の質問項目

- ・手話言語条例第8条第2項に基づいた会議の開催について
- ・ドローンによる農薬散布について



諸派
大久保 恵子

原発

危険な老朽原発の再稼働に対する市長の見解は

問 運転開始から40年を超える美浜原発3号機が稼働し、来年には高浜原発
が再稼働するが、市長には危険な老朽原発の再稼働には反対し、再生可
能エネルギーへの転換を強く求めたい。

答 原子力発電の確実な安全対策、迅速で実効性のある避難体制の確立
などを国や県に引き続き要望していく。再生可能エネルギーでは、国
の脱炭素先行地域の選定を目指し、市環境基本計画に基づき取り組
みを進める。

他の質問項目

- ・新型コロナウイルス感染者の全数把握の見直しの影響について
- ・参議院・市議会議員選挙での投票率向上のための取り組みについて



諸派 (日本共産党)
前田 修治

公共交通

「並行在来線新駅」開業までの手順を示せ

問 曙町に建設予定の新駅について、現況と今後の進め方にかかる市の見解は。
現在、駅前広場の基本設計に必要な測量・地質調査を行っている。そ
の後、図面提示が可能となった時期に曙町・南地区自治振興会・武生
商工高校に説明し、いただいた意見を図面の変更に反映していきたい。
開業は武生商工高校キャンパス統合の、令和7年度を目指す。

他の質問項目

- ・自治振興の現状と課題について
- ・紫式部関連事業について



会派 創生
能勢 淳一郎

並行在来線と福武線の乗り入れを検討せよ

問 福武線のたけふ新駅とJR武生駅が近づけば、通勤・通学者にとって非
常に便利になり、利用者の増加が見込まれる。さまざまな課題があるが、
利便性向上の観点から、可能性を探りながら実現に向けて検討しては。

答 中心市街地の活性化および並行在来線への乗り換え時間短縮などの
効果が見込まれるが、地形や建物などの地理的条件や費用対効果の
検証が必要で、両駅を相互に利用する人数といった基礎データを得る
など、準備作業を行っていききたい。

他の質問項目

- ・中学校部活の地域移行について
- ・新型コロナウイルス感染症と物価高対策について



市民ネットワーク
三田村 輝士

靈感商法

靈感商法被害者への対応について

問 昨今各メディアに取り上げられ話題になっている旧統一教会による悪質な靈感商法の被害にあった場合は、市ではどのように対応しているのか。

答 被害内容に応じた対応のため、消費者センター・弁護士・警察など、必要なところにつないでいく。心配事ができた場合は、まず市消費者センターに気軽に相談いただきたい。また、関係省庁合同での相談窓口も開設されている。

他の質問項目

- ・国道417号冠山峠トンネル開通に伴う、観光地としての花筐公園の新たな整備について
- ・越前ブランド商品販売の国際市場への売り込み方について



諸派 畑 勝浩

特別委員会委員長報告

議会活性化特別委員会

本特別委員会は、令和4年8月臨時会において、越前市議会基本条例の趣旨に基づき、さらに議会改革について継続的に調査研究を進めるため、設置された。

前任期の委員がこれまで検討してきた議員定数と議員報酬について、議員定数は現行どおりとし、報酬については、上げることが望ましいと結論付けた結果を引き継ぎ、さらなる議論を深めることと

した。 改選後、新たな議員体制となつたことから、再度、議員間協議を行い、広く市民からのご意見をいただく時期などのスケジュールを確認し、全国的な状況の調査・研究を行う中で結論付けていくことを確認した。 今後も議会活性化に向け、研修会や市民との意見交換等を通して、調査研究を重ねていく。

公共交通対策特別委員会

本特別委員会は、令和4年8月臨時会において、地域公共交通の整備および利用促進に関し、総合的に調査研究を進めるため、設置された。

まず、理事者から、北陸新幹線(金沢・敦賀間)開業など、公共交通の現状について、説明がなされた。その後、委員間討議を行い、今後取り組むべき調査内容について、協議した。

公共交通対策に係る課題については、並行在来線株式会社ハピライン

ふくいの運営に関することや二次交通の確保、福井鉄道福武線の支援など多岐にわたっており、調査研究の対象は幅広いが、デマンド交通など移動制約者の足の確保と越前たけふ駅からの二次交通についてを、優先的に取り組むこととし、今後、関係機関との意見交換や現場視察などを行いながら調査、研究していくことを確認した。 今後、優先的に調査研究する課題を含め、総合的に調査研究を進めていく。

決算特別委員会委員長報告

令和3年度決算の審査について、9月2日の本会議にて決算特別委員会を設置しました。今委員会では試行的に決算審査を予算審査に連動させる政策サイクルに取り組みました。従来の決算審査に加え、深く議員間協議を行い、委員長報告をまとめていきます。

総務分科会

交通弱者の移動手段を確保せよ

問 市民バスや福祉バス、福祉の路線バスの運行等について、地元の要望をどのように把握し、反映させているのか。

答 高齢化の進展に伴い、バス停まで行くことができず、という声が増えらるる。これまでも公共交通のかたちから、ドアtoドアの形態にシフトしていく必要性について検討している。令和5年度に行う坂口地区での自家用有償旅客運送の実証実験をおおして、検証していきたい。



教育厚生分科会

社会福祉協議会と地域の連携を密に

問 地域ネットワーク事業の事業内容および効果は。

答 社会福祉協議会の活動や、在宅福祉および専門員設置等に関する補助事業であり、地域の福祉活動およびボランティア活動推進や、町内福祉連絡会の開催等、さまざまな福祉活動を展開しており、非常に効果は高いと認識している。

埋蔵文化財の活用を

問 埋蔵文化財の保存および展示の現状は。

答 埋蔵文化財は2か所に分けて約3万点を保管している。これら埋蔵文化財は武生公会堂記念館に常設で展示しているが、多くを公開するのは困難な状況であるため、将来的には、保存と公開が可能な一元的な拠点施設の整備が必要であると認識している。

スポーツ振興の将来的な議論を

問 今後の市スポーツ協会のあり方や地域のスポーツ振興を指導していく体制づくりについて、議論していく必要があるのではないか。

答 市スポーツ協会の役割を整理し、スポーツ振興などについて、市と市スポーツ協会で協力しながら考えていきたい。



産業建設分科会

農業行政の今後の展開は

問 米価下落が続く中、農家は大変苦労している。後継者問題やブランド化の展開の考えは。

答 大規模農業やスマート農業によりコスト低下を図り、有機農業や環境調和型農業により農作物の付加価値を高めることが重要だと考える。後継者問題については、DXを利用した事業を推進し、収益が見込める体系づくりが必要と考えている。

今後の居住支援の総括的な考えは

問 当初予算から大幅な減額となったものもあれば、補正予算で増額となった事業もある。新築が人気とのことであるが、今後は賃貸が伸びてくる予想される。決算を受け、今後の居住支援の総括的な考えは。

答 令和3年度の決算見込みを受け、令和4年度の当初予算時に支援策の見直しを行ったが、市内の新築住宅が飽和状態になれば、利活用できる空き家のリフォームが増えるはずである。新規住宅取得と改築の予算配分を、来年度当初予算で再度見直す必要があると考えている。



その他の質問

- ・外国人市民増加に向けた施策について
- ・臨時財政対策債への認識について

ほか

その他の質問

- ・しきぶ温泉湯菜里の経営について
- ・紙おむつ購入費支援について

ほか

その他の質問

- ・芦山公園整備事業について
- ・森林環境譲与税の活用について

ほか



令和4年8月4日から5日にかけての集中豪雨により、県内各地で被害が発生しました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

今回の豪雨により、特に南越前町の被害は甚大なものとなり、現在でも元の生活に戻れない方もいる状況です。

越前市議会では、南越前町に見舞金を送ることを決定し、8月9日、吉田啓三議長が南越前町議会を訪問し、一刻も早く元の生活に戻れることを祈念して、見舞金をお渡ししました。

南越前町に見舞金を送りました



議会モニターと総務委員会との語る会



令和4年9月28日に、議会モニターと総務委員会との語る会を開催しました。

まず最初に、総務委員会とはどのような分野を担当する委員会なのか、という点について、委員長および各議員から説明が行われ、その後意見交換を行いました。

議会モニターからは、「職員はこの市町でも夜遅くまで仕事をしているようだが、そういった現状を把握しているのか。」「新幹線開業に際して、市内とをつなぐ公共交通について、どのように考えているのか。」「など、さまざまな質問が出ました。

これに対し、議員からは「近年は、コロナ感染による療養や自宅待機と、早期退職者の増加などにより、職員一人一人にかかる比重が増えていることが影響している。現状、実態については詳細に見ていきたい。」「二次交通の必要性は認識しており、今後増えていくであろう交通弱者の移動手段の確保が課題となっている。議会では公共交通対策特別委員会を設置しており、その中で調査研究を行っていく。」「といった回答がありました。

今回議会モニターの皆様からいただいたご意見については、今後の議会運営に活用させていただきます。

紫色のマスクで「紫式部ゆかりの地」をPR

9月定例会初日、議場にて議員と理事者が紫色のマスクを着用して、「紫式部ゆかりの地」をPRしました。

これは、2024年の大河ドラマが紫式部を主人公とした「光る君へ」に決定したことを受け、紫式部が生涯で唯一都を離れて暮らした土地であり、かつて越前国府のあった越前市をPRするため、吉田議長の呼びかけにより実施しました。

今回の9月定例会には、6月定例会に引き続き、「紫式部プロジェクト事業」の補正予算が計上されており、2年後の放送に向けた準備が進んでいます。



市自治連合会と議会との意見交換会

令和4年10月24日に市自治連合会と議会との意見交換会が開催されました。この意見交換会は自治連合会主催で毎年開催されており、振興会や各地区の各種課題等について、意見交換を行うものです。

今回の意見交換会では、少子高齢化が進み、人口が減少している中で、振興会をはじめとして、民生委員など、役員のなり手不足を解消するにはどうしたらよいか大きな議題となりました。

そのうえで、問題解決のためには、行政に本腰を入れて問題に取り組んでもらう必要があること、地区の社会教育の担い手である公民館の役割を重視し、人材育成のために注力することが重要であることなどが提案されました。

この他、全体的な人口バランスを調整するための学区見直しや、新幹線駅周辺開発の進捗についてなどの提案や質問が挙げられました。



9月定例会で採決された人事

教育委員会委員の任命に同意

岡川 聖代 氏(小松二丁目)

農業委員会委員の選任に同意

佐治 覺次 氏(中平吹町)

丸岡 幸生 氏(御幸町)

人権擁護委員の候補者の推薦に同意

長谷川 美津代 氏(家久町)

蓑輪 優子 氏(八石町)

越前市議会議場見学

～小学生が議会の仕組みを学びました～

武生南小学校・白山小学校・坂口小学校・岡本小学校の皆さん、ようこそ議場へ!



武生南小学校4年3組 5月31日(火)



武生南小学校4年2組 5月31日(火)



武生南小学校4年1組 5月31日(火)



岡本小学校4年生 10月20日(木)



坂口小学校4年生 10月13日(木)



白山小学校3年生・4年生 9月21日(水)



越前市では、小学4年生になると、市内施設めぐりの学習があります。今年も議場に多くの小学生が訪れています。

武生南小学校では、事務局職員が、白山小学校は橋本弥登志副議長が、坂口小学校は近藤光広議員が、岡本小学校は清水一徳議員が、それぞれ議会の仕組みや役割について、クイズ形式で説明を行いました。

児童の皆さんは、初めて見て触れる議場の様子に興味津々で、議員の説明に対しても、元氣よく質問していました。

見学の最後には、議場で記念撮影をしました。

議会中継は丹南ケーブルテレビやインターネット・スマートフォンでもご覧いただけます

丹南ケーブルテレビの場合

丹南ケーブルテレビで議会放送を見るときは92チャンネルです。議会放送中、091チャンネルは図のようになります。

【通常放送時】

地域ふれあいチャンネル
091ch

【議会放送時】

地域ふれあいチャンネル
091ch 議会放送 **092ch** 議会放送(重なった場合) **093ch**

議会放送を見るためにはリモコンのこのボタンで092チャンネルに合わせてください。



インターネット・スマートフォンの場合

本会議の録画映像は**見たいときにいつでも議員ごとに見ることが**できます。議会中継をご覧になるときは、市のホームページから入って次の手順でアクセスしてください。

①越前市議会をクリック



②インターネット議会中継をクリック



12月定例会日程

月日	時間	会議名	丹南ケーブルテレビ再放送予定時間 (変更になる場合もあります)
11月21日(月)	午前10時	本会議(提案理由説明)	11月22日(火) 午後6時
24日(木)	午前10時	本会議(質疑)	11月25日(金) 午後6時
29日(火)	午前10時	本会議(代表質問)	12月6日(火) 午後6時
12月1日(木)	午前10時	本会議(一般質問)	12月7日(水) 午後6時
2日(金)	午前10時	本会議(一般質問)	12月8日(木) 午後6時
5日(月)	午前10時	本会議(一般質問・予備日)	12月9日(金) 午後6時
6日(火)	午前10時	教育厚生委員会	
7日(水)	午前10時	産業建設委員会	
8日(木)	午前10時	総務委員会	
12日(月)	午前10時	公共交通対策特別委員会	
	午後1時30分	議会活性化特別委員会	
14日(水)	午後1時	議会運営委員会	
16日(金)	午後2時	本会議(委員会審査結果報告、質疑、討論、採決)	12月19日(月) 午後6時